

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 5月 11日
住 所 埼玉県川越市大字鯨井552
県内企業等の名称 埼玉ライナー株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 宮田 哲

埼玉ライナー株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の企業理念である「優れた技術を通じて、常に地域社会に貢献する」を念頭に、自然環境に配慮した物づくりなど、事業活動を通じて地域の課題解決、地域社会に資することにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社用車の燃料・燃費をデータ化し、エコドライブの推進をするとともに環境配慮型車両に入れ替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:56%(9台/16台)②平均燃費:15km/L	<2030年に向けた指標> ①100%(16台/16台) ②23km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①75%(12台/16台) ②20km/L
社会	社会貢献活動として、「彩の国ロードサポート」の継続及び推進をする。 <(現状値)2022年の数値> 彩の国ロードサポート実施回数:4回/年(延べ24名)	<2030年に向けた指標> 6回/年(延べ54名) <取組開始3年後に向けた指標> 5回/年(延べ45名)
経済	多様な働き方実践事業として、社員の有給休暇取得向上を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:11日/年	<2030年に向けた指標> 14日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。